

会 議 録（９月）

平成 29 年 9 月 22 日
教育委員会会議室

1. 出席委員 教育長 猪野 貴一 教育長職務代理者 松本 学
 委員 興梠 瞳 委員 石井 勇
 委員 寺本 俊文
2. 事務局 教育次長 武内 秀元 指導主事 渡木 秀明
3. 書 記 教育次長 武内 秀元
4. 報 告
 - (1) 鞍岡中学校跡地に関する協議の第 3 回報告について ※ 非公開とする。
 - (2) 平成 29 年第 3 回五ヶ瀬町議会定例会一般質問について
 - (3) 教職員の働き方改革について
5. 協 議
 なし
6. その他
 - (1) 第 31 回五ヶ瀬町民体力づくりソフトボール大会の開催について
 - (2) 第 7 回五ヶ瀬町フロアカーリング大会の開催について
 - (3) 五ヶ瀬町立学校オープンスクールの開催について
 - (4) 西臼杵・東臼杵教育委員会合同研修会の開催について

連絡事項

- (1) 教育委員会行事予定（9・10月）について

会 議 録 午後4時58分開会

教育長 あいさつ

議事録署名委員：石井 勇 委員

Q・・・Question（質問）、A・・・Answer（回答）

O・・・Opinion（意見）

E・・・Explanation（説明）

【4 報告】

1 鞍岡中学校跡地に関する協議の第3回報告について ※ 非公開とする。

2 平成29年第3回五ヶ瀬町議会定例会一般質問について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・ 秋本良一議員から、「歴史、文化の薫る町としての取り組みについて」質問があった。質問の要旨は、「歴史あるいは伝承が地方創生や世界農業遺産の大きな要の1つになると思う。伝説等も含めた掘り起こしが、未来の五ヶ瀬町として重要な課題であると思われるが、施策を伺いたい。」という内容であった。
- ・ これと同様の質問が、平成26年12月議会でも行われており、この時は伝説の掘り起こしとして、戦国時代の甲斐宗運の件について企画課長が答弁している。
- ・ 有形、無形の文化財等、重要と評価されたものは国または県及び町の指定を行い、後世に残すべきものとして保存していると答弁した。また、民俗芸能保存団体連絡協議会に13団体が加盟しており、保存活動を行っており、民俗芸能保存伝承活動事業として、児童生徒への伝承教室を行っていると答弁した。
- ・ 一昨年、12月に認定を受けた世界農業遺産関係で新たな地域おこしをフォレストピア圏域一体となって進めると答弁した。
- ・ この他、伝説は伝説として残すことに価値があると答弁した。

(質疑)

E 1 一般質問の他に、平成28年度決算の認定に関する常任委員会報告では、教職員住宅が古く、健康被害も見受けられるので修繕等が必要だという報告があったが、教育委員会としては、この報告を追い風として予算要求していく考えである。

E 2 大規模改修になれば、一旦他の住宅に移ってもらわなければいけないので、空き住宅を確保してからの修繕になる。

Q 1 以前もそういう話しがあって、大々的に改修するという話が進んでいたが、住宅が満杯状態で改修が出来なかった経緯がある。教職員住宅の入居の関係をどう考えるのかが課題ではないか。

A 1 来年度の異動の時期にどこかの住宅を空けるしかないと考えている。

3 教職員の働き方改革について

① 資料に基づき、渡木指導主事が説明する。

- ・ 猪野教育長が就任されて直ぐに取り掛かれたのが、「教職員の働きやすい環境づくり」についてである。平成30年度から教職員の勤務時間の把握に関する対策を取って行かなければいけないというのがあって、町の現状等を分析し、纏めて、5月の校長会で説明した。

・学校現場の現状は、

- ① 「学校現場を取り巻く環境の複雑化・多様化と、学校に求められる役割の拡大」、先生方が会議等で忙しくなったということ
- ② 「改正学習指導要領の内容の増加」、小学校5・6年生は外国語活動の時間が週に1時間あるが、平成32年度から小学校3・4年生に外国語活動が週1時間入り、5・6年生は週2時間の外国語科が新設され、3年生から6年生まで時数が1増えることになり、先生方の負担も増える
- ③ 「労働時間・指導内容等の増加、環境等の現状による徒労感」は、先生たちは、人づくりが職務であるため、成果が認められにくいことや、いじめ・不登校等の状況、学力調査等の結果に縛られて、徒労感が増している

こういう学校現場の状況がある。

・行政の動きは、

- 文科省が勤務実態調査で非常に深刻化している、学校の先生はブラックであるというような形でニュース等に取り上げられている
- 県教委が課題解決の取り組みを始めている
- 厚労省が都道府県の教育委員会に対して、「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」の通知を行った。

・では、五ヶ瀬町の教職員はどうかということになると、教育長がキーワードとして掲げているのが、「やりがい」、「充実感」この2つを町内の先生方には伝えている。なかなか時間だけでは、先生方の疲労感は図れないものもある。働いている者誰しも思うことがあるが、長い時間働いても翌日、胸張ってスキップしながら行ける職場もあれば、短い時間でも嫌々向かう職場もある。子ども達に接することというのは、当然、仕事でもあるが、同時にやりがいや生きがい、充実感の源にもなっている。そのために上手に仕事と向き合っていただけるような、ただ、一方では時間に対することや、五ヶ瀬の教育ビジョン、五ヶ瀬の子ども、人づくりというものを進めて行けなくてはならない。

① 五ヶ瀬教育ビジョンの「選択と集中」による次の展開の構築

中学校の部活動や少年団を持っている先生方もいることから、その休業日の設定、対外試合等の見直し

② 改正学習指導要領への対応

モジュール学習というのは、小学校で1コマ、1時間が45分で授業をしているが、それを45分を15分ずつに3つに切って、その15分を朝の時間とかに埋め込んでいって、朝の15分を3日分で1コマの授業とするようなシステムがある。そういったものを取り入れて行けないかという話して乗り切ろうとしている。

③ 「五ヶ瀬で教育を受けてよかった」「五ヶ瀬で教育ができてよかった」と実感できる環境整備

こういった環境整備を教育委員会で進めて行きたい。

- ・（資料の）最後２つの項目を四角で囲っているが、
 - スクラップ&ビルドという言葉をよく聞くが、ビルドしている余裕はないというのが実際のところで、削れるところは削る、スクラップをするであるが、意味のある削り方、残すべきものをしっかりと残すような、そういったことをお願いしている。
 - 子供たちに真の教育ということが書いてあるが、しっかりと結果を残して子供たちの成長が実感できるような、そういう教育を行っていけば、多少スクラップして無くしたとしても、しっかりと子どもが育って行けば大丈夫ということで、自信をもってスクラップしていけばというふうな話をさせていただいた。
- ・授業時数と働き方改革のところを、五ヶ瀬町は一体化で捉えようとしている。一方で、文科省は英語で時数が増える、これは絶対動かない。一方で働き方改革で先生方に休み、仕事の時間を減らしてくださいと言って来ている。これ別個に考えるとなかなか上手くいかないが、ではどういうふうな仕組み、先ほど言った授業時間の工夫とかで、どういうふうにすれば両立して行けるのかというのが、パッケージで考えようとして、今、各学校と連携して進んでいるところである。ただし、時間に関してはどうしても議論に上がったりする。そこで２枚目の資料を見ていただき、
- ・９月３日の日曜日から９月９日の土曜日まで、五ヶ瀬で言うと夏休みが終わり８月２５日の二学期が始まって、第２週目に当たる部分、とても忙しい週、中学校は運動会を目前、小学校は二学期に入って心機一転という中で、この忙しい時期に先生方の勤務時間を調べてみよう、一週間調査を行った。
- ・（資料の）結果Ⅰ 勤務日における業務の状況（休憩時間を含む）

学校に行った時間から帰った時間までで、休憩時間１時間はあるが、それを除いて、何時に学校に行って、何時に学校から帰ったか、管理職を含む先生方に提出いただいた。平均１０時間２８分で３校がほぼ平均に近い業務時間で、一番短い学校が３０分短く、一番長い学校が３０分長いという結果が出た。
- ・結果Ⅱ 職による業務の状況

教頭の勤務時間が一番長い。

平成２８年度の小中平均は、昨年度、文科省が調査した時間で、この時間からは休憩時間を自己申告で除いている。休憩時間が取れなかった人はゼロ分、休憩時間が取れた人は就業時間が引いた時間となっている。うちの調査は、休憩時間を含んでいる。休憩時間を除けば、この時間より少なくなる。

教頭先生は、全国平均１２時間０９分で、うちの先生は１２時間３８分

で、30分休憩を取っていれば、全国平均より下回ることになる。
全国平均を下回っているから良いではなく、学校と連携しながら働き方改革をやって行きたい。

・結果Ⅲ 休日における業務の状況

土日の部活動等で、延べ19人の先生方が休日に出てきて業務を行っている。合計は、89時間05分で、この中には中学校の先生が県外へ遠征に行った時間も含まれている。

部活動の指導時間については、現在、議論が活発化しており、各地で様々な対策が講じられている。五ヶ瀬中学校では、部活動について、家庭の日の第3日曜日は原則休みで、週1日以上 of 休養日を必ず設定することとしており、そのうちの2日は土曜・日曜日に設定している。これは、新しいチームになってから実施している。

(質疑)

E 1 これは、10月23日の県教育委員と市町村教育委員の意見交換会のテーマとなっている。

E 2 うちの先生達は、地域の人達から「先生達は、よく頑張ってくれている」とか、「ありがとう」とか声を掛けられている。これがやりがい、充実となっている。そうすると無駄な仕事もしなくなる。自信を持って教育活動ができる。これを継続して行くべきだと思う。

Q 1 五ヶ瀬だけの問題ではない。全国的に時間が増えて行くので、みんなで考えないといけない。小学校は、朝来たら子供たちに付きっきりで、その後に教材とかを作って仕事をしようとすれば、確実に時間は増える。全国的に変えていかないとどうにもならない。基本的に何を変えれば良いか、自分達には分からない。

E 3 文科省としては、9月の初めに財務に出した施策としては、生徒指導面、家庭がしていた事を教員が補完している。例えばあいさつとか、悩み相談とか、こういうのもしている。そういう生徒指導の教員を増やそうとしている。それからスクールカウンセラーを増やすことや、学級の人数、定数40人学級を増やそうとしている。8年前に始めたが、財務に切られて、それをやろうとしている。

E 4 現場の本当の声は、夜、いわゆるモンスターペアレントとか言われる人の電話を一本受ければ、5時に帰ろうが4時半に帰ろうが、その日一日は台無しになる。そう意味で地域の人達から支えられて、感謝の気持ちを伝えられるというのは、何時間働こうが学校は楽しいところになる。うちの職員は、

他の市町村より、間違いなく働いてもらっている。メンタルチェックリストを兵庫教育大学の教授に経年で取っていただいているが、うちの先生方は年すが経つに連れて、勤務時間は増えるがやりがい、充実感が増えている。本当に職務に対してやりがい、充実感を持って、３年間成長してくださっている。そこは今まで通り、家庭や地域の方と一緒に子育てをしていけば、何よりも働き方改革は、先生方の心の健康ではないかと思う。

Ｅ５ この結果をしっかりと返していく。教職員がどう思うかは分からないが、こちらでやったことを誠意をもって伝えて行きたいし、来年、文科省が増やしてきた年間３５時間、それを無理なく今のやり方でやれるような体制を作っ
てあげて、逆に言えば授業を減らすようにして行きたいと思っているので、今後相談する。

【５ 協議】

なし

【６ その他】

１ 第３１回五ヶ瀬町民体力づくりソフトボール大会の開催について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・ １０月２２日に開催する。
- ・ 衆議院が解散した場合、この日が選挙となる可能性があるが、大会は開催する予定である。

(質疑)

なし

２ 第７回五ヶ瀬町フロアカーリング大会の開催について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・ １１月１９日に開催する。
- ・ 本年も協賛各社から景品を提供していただく予定である

(質疑)

なし

３ 五ヶ瀬町立学校オープンスクールの開催について

① 資料に基づき、渡木指導主事が説明する。

- ・ １０月１４日、土曜日に開催する。
- ・ 広島県の大崎上島町の教育委員会から来町される。昨年、来町の予定であったが、鳥取での地震で新幹線が止まり、来れなかったということで、今回、教育委

員、校長会会長、事務局職員で7名が来町される。夜の交流会にも参加されるので、教育委員に参加をお願いしたい。

(質疑)

なし

4 西臼杵・東臼杵教育委員会合同研修会の開催について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

・ 11月29日、水曜日の午後2時30分から日之影町福祉館で開催される。

(質疑)

なし

連絡事項

1 委員会の9・10月行事予定

※ 一覧表により次長が説明する。

次回の定例教育委員会日程

9月26日(火)午後4時30分からの臨時教育委員会において決定する。

閉会時刻 午後5時56分

教 育 長

会議録署名委員

会議録調整者